

Weekly Report
No.2318



イマジンロータリー
2022-23年度
国際ロータリーテーマ

Hashima Rotary

2022-23年度 会長方針

「ロータリーの回帰・研修・改革」

会長 岩田 勝美 幹事 林 秀樹 会報委員長 平松 暁仁



事務所：〒501-6255 羽島市福寿町浅平 3-106 TEL (058) 392-2888 FAX (058) 391-2266
例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：西松亭 E-mail: hashima@ccn.aitai.ne.jp

本日のプログラム

第 2593 回 2022 年 9 月 13 日 (火)
『プログラム卓話』
卓話『健康経営 -働き方改革の意義-』
社会政策課題研究所 所長 江崎 禎秀様

次回例会のご案内

第 2594 回 2022 年 9 月 20 日 (火)
『プログラム卓話』
卓話『羽島市PRソング
「羽島ったらマッタイラ」の制作とその後』
漫画家・はしまイスター 広東 もな様

前回例会の記録

第 2592 回 2022 年 9 月 6 日 (火)
『友愛例会』 都合により、休会

前々回例会の記録

第 2591 回 2022 年 8 月 30 日 (火)
『プログラム卓話』
新会員卓話 天野 洋和君 ・ 加藤 隆康君

副会長の時間



副会長 荒木 義男

皆さん、こんにちは！

本日は岩田会長がご不在ですので、クラブ細則第4条第4節により、私が会長の時間を代行させていただきます。ところで皆さん、私が副会長であることはご存知でしたか？

副会長には普段から特別な職務はなく目立たない存在ですが、会長不在時の代行という位置付けですので、本来はパスト会長などが務められるべき名誉職です。ただし、クラブによってもその位置付けや役割は異なっているのが実態のようです。

まずは、岩田会長からの申し送りとして、8月20日に開催されました納涼家族例会につきまして、企画してくださいました親睦委員の皆さんに感謝申し上げます。また、コロナ下にも拘らずご参加くださいましたご家族の皆さまにも御礼申し上げます。とても楽しく、充実した一日でした。

さて、奇しくも会長幹事がご不在ということで大役をいただきましたので、本日は5大奉仕部門の根幹を成す職業奉仕について、少しお話をさせていただきたいと思っております。

私が入会しました4年前、これまで自分の会社を続けてこられたお返しをしたい、何か社会貢献がしたいと日頃から考えておりましたので、当時、研修会などで教えていただくことが多かった職業奉仕については、一生懸命勉強しました。が、なかなかその理屈が腑に落ちない。もっと言えば、何もロータリークラブに入らなくたって寄附やボランティア活動はできるじゃないか。ロータリーは他とどこが違うのか、ロータリアンである意味は何なんだろうと悩んでおりました。

ところが入会して2ヶ月目に参加した地区大会で、とあるロータリアンが話された講演会で、まさに目からウロコ、なるほど、これこそがロータリー独自の職業奉仕の意義なんだ！と、はたと気が付く経験をしました。

なかなか一言ではお伝えできませんが、私が得た職業奉仕の真髄は、自分の職業を通じて社会に貢献したからこそ、報酬を受け取れる。まさにその通り！しかもロータリーは、最もよく奉仕したものが、最も多く報いられる(利益を得ることができる)とも言っています。

私は、これは単なる理念ではなく、具体的かつ理想的なビジネスの実践ノウハウを説いたものではないかと気づいたので。お客様のために徹底して奉仕したからこそ自身の繁栄があると。私は心底納得できました。

さらに、ロータリアンである理由としては、一般の篤志家との違いについて話され、即ち、ロータリークラブには善意と友情に支えられた沢山の仲間がいる。互いに研鑽し、教え教えられ、励まし合っているからこそ、我々の活動は続けることができ、その精神は何世代にもわたって受け継がれていく。これを聞き私は、ロータリーは何て素晴らしいんだとスイッチが入り、今があるのです。

実は、このことを教えていただいたロータリアン、寒河江ロータリークラブの鈴木一作さんが、10月の地区大会にいらっしゃって、基調講演をされます。まさに

貴重なお話が聞ける機会かと思しますので、参加される皆さまはお楽しみに。これで副会長の時間を終わります。ご清聴いただき、ありがとうございました。

プログラム卓話



新会員 天野 洋和
事業所:(株) 天野企画

昭和49年9月17日 生まれ 現在47歳 B型の乙女座。自宅は、岐阜羽島駅と羽島ICのちょうど中間くらいにあり、家族5人 妻と、高1、小4、小2の息子たち。趣味は、出張。つり。

音楽鑑賞。大勢でお酒を飲んでワイワイやったり、美味しいものを食べたりすること。ゴルフは年に3、4回、スコアは110~120。学生時代、柔道で2段の黒帯。

直近の目標は、来年5月にロータリーの国際大会がオーストラリアのメルボルンで開催されるという情報から、偶然、友人がメルボルンに住んでいるので、旅行を兼ねて、国際大会へ行き、自分自身の世界を広げること。

生まれは、愛知県の南部の西尾市吉良町という三河湾に面した街で、大河ドラマなどで有名な「忠臣蔵」の舞台となった「吉良上野介」の領地であったところ。私のルーツはその吉良に。

さて、トマト農家に男三人兄弟の末っ子として生まれた私は、幼少期より「崇高な将来の夢など」は特になく、高校時代、ただ漠然と「大学に行って一人暮らしがしたい」という思いから、岐阜大学工学部に進学し、単身、岐阜の地にやってきました。

4年間の自由奔放な学生生活を謳歌しすぎたため、就職活動に出遅れ、困り果てた教授が私に勧めてくださったのが、岐阜市の建設会社でした。そこへ入社し、土木工事の現場監督として、トンネル、橋梁、道路工事、護岸工事など、様々な公共工事に関わらせていただきました。約10年間務めた所で、インターネットの魅力と無限の可能性を感じ、全く異なる業種、(映像コンテンツ)を制作し、それをホームページで販売するという事業を立ち上げ独立をしました。

なぜ羽島市なのか?当時、岐南町のアパートで新婚生活を送っていましたが、マイホーム兼事務所を立てる際、今まで縁もゆかりもない羽島市に決めました。土地を選ぶ際に笠松や西岐阜周辺なども候補に上がっていましたが、たまたま羽島市の候補地が江吉良町という地名だったことに、私のルーツである「吉良」と何かしらの運命を感じ、この土地に根を下ろすことに決めました。

創業してまもなく、商工会議所を通じ、岩田鉄工所様とのご縁をいただきました。あの空前の大ヒット商品

「世界初!電動伸縮杖、伸助さんのwebサイトと販売システム構築のお話をいただいたのです。そのご期待に答えるべく、当時、実績はほとんどなかったものの一生懸命構築を進めました。リリースしてまもなく、NHKのおはよう日本を始めとする、いくつかのテレビ番組に取り上げられると、ネットでの注文が殺到し、伸助さんの生

産が追いつかなくなり、たちまち数ヶ月待ちの状態になりました。

まさに「飛ぶように売れる」とはこのことか!という大変貴重な経験を間近で体験させていただき、岩田会長には大変感謝しています。

そのような実績をすこしづつ積み上げ、岩田鉄工所様を初めとした地元の企業の皆様に、温かく育てていただきました。そして次第にできることを増やし、事業の幅を広げ今日に至っています。

34歳でJCに入会させていただき、ここでも多くを学ばせていただきました。詳しいルールも知らないサッカー大会の委員長をさせていただいた際には、もう半分泣きながら設営していたという思い出もあります。何でこんなに苦しいことやってるんだろうなあ。仕事でもトラブルを解決しなあかんの。と目的を見失いそうになる場面もいくつかありましたが、虫賀さんをはじめ、加藤さん、木寺さん、佐藤さん、栗山さん、に支えられ、卒業を迎えるわけですが、実は、私はJC時代を後悔しています。

なぜならば、「仕事が忙しい」「子供の世話がある」そんなことを理由にその活動に専念できておらず、志半ばで卒業を迎えてしまったからです。ロータリーとJCとはまた、少し性質の違うものだと思いますが、今後、ロータリーの活動を後悔しないためにも、「仕事が忙しい」などを理由に中途半端な活動はしたくないと考えています。そのためにも、仕事の段取りをしっかりと、「社員を信頼してに任せるところは任せる」「社長の仕事は社長の仕事」という形で、会社の体制を改めて構築し直す、良い機会だと捉えています。

さて、天野企画は、今年で創業16年目となりますが、現在役員含め15名の体制で、お客様のニーズにしっかりと応えられる企業を目指して、さらなる技術研鑽とサービス向上を目指しています。

私達の仕事は、最先端のIT技術を活用して、企業様の商品やサービス、事業のPR活動をお手伝いすることです。戦略的PRは、企業とそれを取り巻くステークホルダーとの距離を縮め、商品やサービスの販売促進、新規顧客の獲得、ブランドイメージの向上による採用促進などを実現することができます。

具体的には、魅力的なホームページの制作、オンラインショッピングサイトの構築、スマホアプリ開発、名刺一枚からチラシやカタログ・パンフレットの制作、それに関わるデザイン、写真撮影や映像制作など、できることは多岐に渡ります。「天野企画に頼んでよかった」「ありがとうございます」「たすかったよ」「おかげで売れてるよ」「次もよろしくね」「打ち上げ行きましょう」など、たくさんのお客様に、お声がけいただけることが、私達の大きなやりがいとなっています。

企業理念は、「関わる人すべての幸福を追求し、心豊かな楽しい社会の発展に貢献する」

スローガンは「三方良し」

さて、いよいよ7月から私も羽島ロータリークラブの一員として、皆様のお仲間に入れていただいているわけ

ですが、私がロータリーに入会した理由をお話します。

私がロータリーに入会させていただいた決め手は大きく2つあります。

1つ目は、創業当時からお世話になった岩田会長が、当時会社に行くと決まって、難解なダジャレを連発した後に、忙しそうに「これからロータリーがあるでなあ〜」「5時までにはグランドホテルに行かなあかん」とか「ロータリーの話を楽しそうにお話されていた姿がいつも輝いて見えたこと」です。

2つ目は、和食ダイニングいちいで、堀直前会長の創業から現在までのお話をお聞きする機会があったことです。「当時の堀会長からは、ロータリーに抱く熱い想い」「ロータリー活動が自分にとってとてもプラスになったこと生き活きとお話され、その姿が輝いて見えたこと。」

この2つが、大きな要因となり入会を意識するようになりました。今もなお、ロータリーが具体的に何をする団体なのかは詳しく理解していないのが正直なところですが、この活動を通して、自分自身も、諸先輩方のように、「もっと輝ける自分になれるのでは」と大きく期待をしています。

これから、「真のロータリアンとは何か」を追求し、それを仕事に活かすことで好循環させ、この地域社会のさらなる発展に貢献できる「より存在意義のある企業」「より役に立つ自分自身」を目指して邁進していきと思えます。不束ものですが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



新会員 加藤 隆康
事業所：(有) わおん

まず、今回羽島ロータリークラブをご紹介いただいた岩田会長、そしてこれまで羽島ロータリーの魅力を身近で発信し伝えてくれた南谷先輩、堀先輩、虫賀委員長、木寺委員長に感謝申し上げます。

現在僕は3人の父親です。長男は大学生、長女は専門学生、そして次女は高校1年生です。みんな健康で健やかに育ってくれています。そんな子供たちに僕から常々伝えていることは、彼らの良いところです。

『ちゃんと自分の意見を持つてるから いいんじゃないかな。』

『かわいい服じゃん、似合ってる似合ってる』

『すごいじゃん、よくわかったね。信念もあるし、いいと思う』

など、意識して口に出します。

なぜ、良いところを伝えるのか、それは、彼らに幸せになってほしいからです。

自分らしく、人生をエンジョイしてほしいからです。

そして、子どもの心に栄養を与えるのは親の努めだと思っているからです。

完全な親ばかりですが、良いところを見つけ言葉に出すことは僕自身の成長にもつながっていると実感するし、

子どもたちの一番の応援者であり続けたいとそう思っています。

そして僕は会社の代表でもあります。社名は『わおん』といいます。このわおんという名前は音楽の『和音』から名付けました。『和音』とはドミソやレファラのように同時に奏でることで聞こえるハーモニーの事です。

人それぞれ個性はあるけど、一緒にいることでお互いの良いところを見つけ、助け合い協力することで相乗効果をはかり、よりよい場所にみんなですという願いが込められています。

今から22年前、私の母が祖母を看取るために建てた家が『わおんの家』第1号でした。

うちの祖母は当時、特養に入所していました。認知症がかなり進んでいて、一人でトイレもいけないう状況でした。休みの日、僕と母が祖母に会いに行くため特養を訪れると、施設をうろうろと歩き回る祖母がいました。歩きまわっている祖母に近寄ると『ぴちゃぴちゃ』と歩くたび音がします。どうやらトイレが間に合わず上靴の中にたまっている様子でした。すぐに看護師さん呼びきれいにさせていただきましたが、帰りの車の中、母が「このままじゃいけない、何とかしないと」と話し、祖母の居場所をつくるために一念発起し、設立したのが、現在の『わおんの家』です。

とは言っても、当時、実績も経験も貯金もない母にお金を貸してくれる銀行は一軒もなく、いつも門前払いでした。家の中でもケンカが絶えなかったころ、たまたま母の知り合いだった建築会社の社長さんが

「加藤さんなら僕がお金を貸してもいい、お母さんのためにこれを使ってください」

と、信じられないお話がありました。

そして、ようやく母の夢であった『親の終の棲家』が誕生しました。

しかし、完成した矢先に祖母は他界。残ったのは借金と建物だけ。

お金を返していかななくてはいけないため、僕は以前勤めていた岐阜グランドホテルを辞め、そこから介護の仕事を一から勉強し始めることになりました。

あれから22年。いろんな苦難や困難は多々ありましたが、ここまでやってこられたのは、一緒に働いてくれたスタッフと地域の皆様の支えがあったおかげです。

当初6名でスタートしたわおんも、今は175名のスタッフに助けられています。

現在新たなリハビリ中心のデイサービスを建設中で今年秋10月にオープンさせていただく予定です。内覧会は10月7.8日となります。ご興味のある方はぜひお越しください。

委員会報告

R財団委員会

柳原会長エレクト



7月23日(土)
第1回ロータリー財団
研修セミナーに出席
コロナ禍の為、Zoomにて開催

R研修情報委員会



堀R研修情報委員長



8月27日(土) クラブリーダー研修セミナー出席

青少年奉仕委員会



虫賀青少年奉仕委員長



国際ロータリー
第2630地区
青少年交換学生

8月28日(日) 夏期派遣学生オリエンテーション

荒木青少年奉仕委員

オードリーさん

西松会員(第1ホストファミリー)

カウンセラー 梁会員

【4名出席】

出席委員会

・本日の出席率

出席規定会員数 32名中 22名 68.75%

・8月9日の補填出席率

出席規定会員数 35名中 31名 88.57%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆荒木 義男君 西松 永根君 加藤 宗雄君
虫賀 大輔君 木寺 祐樹君 松田 和彦君
加藤 隆康君 平松 暁仁君 栗山 和洋君
栗山 浩幸君 久米 勉君 梁 麗娜さん
柳原 望成君 南谷 茂伸君 辻井 晃君
山下 正弘君 加藤 大輔君 青木まき子さん
佐溝 勝樹君 堀 雅利君 天野 洋和君

本日は、新会員卓話で、天野洋和君、加藤隆康君の卓話です。楽しみにしておりますので、よろしくお願ひします。

◎仕合せ貯金

堀 雅利君 荒木 義男君 兼松 秋生君

幹事報告(第2591回)

- 次回例会は9月6日(火)『友愛例会』 → 休会
- 羽島ロータリークラブのホームページ内、会員専用ページに会報(週報)・幹事報告(掲示板)・メイクアップ情報(M.U.情報)・例会バックナンバー(過去の例会動画)を掲載。今後、随時更新。ID・パスワードは事務局までお問い合わせください。
- 9月のメイクアップ一覧をホームページに掲載。
- 回覧内容
 - ① 地区大会 託児希望の募集
 - ② 「第20回記念ローター全国囲碁大会」のご案内
 - ③ (財)ローター米山記念奨学会より『ハライトよねやま』
 - ④ 国際ローター日本事務局より『財団室NEWS』

9月のお祝い

- ***** 会員誕生 *****
- 森 輝廣君(12日) 毛利 高久君(17日)
天野 洋和君(17日)
- ***** 夫人誕生 *****
- 山下 英子様(2日) 横山 裕子様(4日)
川崎 美和様(5日)
- ***** 結婚記念 *****
- 川崎 哲也君(3日) 古川 修司君(26日)

羽島RC 釣り同好会

第1回釣り大会 9月8日 越前

